

保護者の皆様

東京都立青山高等学校長
小澤 哲郎

平成29年度学校評価及び平成29年度第2回生徒による授業評価等の結果について

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。

平成29年6月21日付29青山高第355号「授業評価アンケート調査等のIT化について」によりお知らせした調査のうち、標記の調査結果について、下記のとおり報告申し上げます。

記

I 学校評価

1 概況

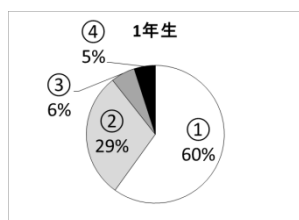
調査項目の概ねすべてにおいて、肯定的評価が8割前後を占めるなど、良好な評価を得ています。特に、外苑祭等の学校行事や部活動、授業・講習の内容や進路指導・進路ガイダンスは、肯定的評価が9割以上でした。教職員、学校運営連絡協議会による学校評価も概ね良好な評価を得ました。また、生徒による学校評価との差異も、昨年度までと異なり、小さくなりました。

一方、自由記述には、授業や講習の内容に対する不満、土曜授業や講習デーに対する疑問、進路指導に関する要望、教員の接し方への要望、行事の在り方への提案、施設・設備の改善・充実の要求など、様々な意見もありました。

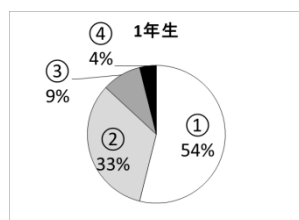
2 特徴的傾向

(1) 昨年度の傾向と異なるもの

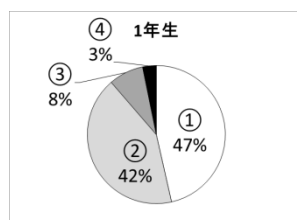
- ・青山高校を志望する際に考慮した事柄は、昨年度最も多かったのは「進学実績」でした。



生徒の様子や校風



交通の便や学校周辺の環境

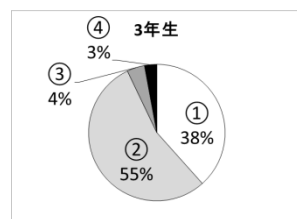
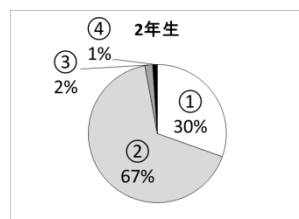
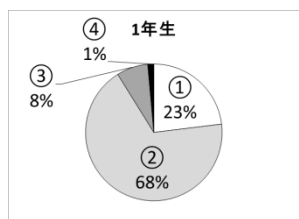


進路実績

①	大いに考慮した
②	ある程度考慮した
③	あまり考慮しなかった
④	全く考慮しなかった

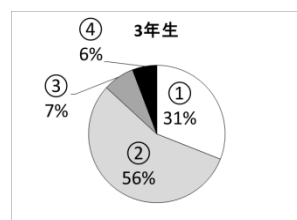
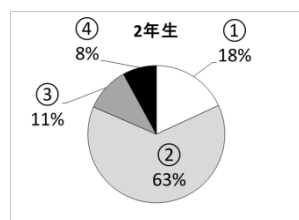
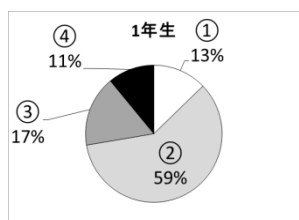
(2) 学年が進むにつれて度合いが高まるもの

ア 授業内容の満足度



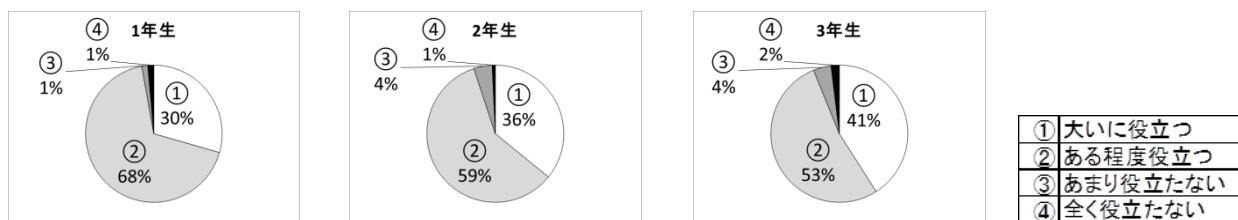
①	大いに満足している
②	ある程度満足している
③	あまり満足していない
④	全く満足していない

イ 土曜授業の有効性

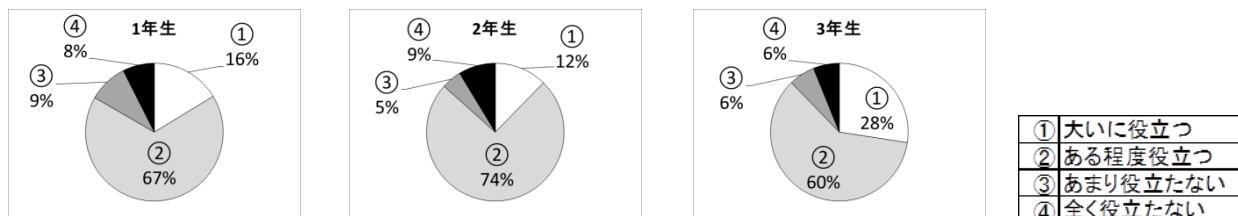


①	大いに役立つ
②	ある程度役立つ
③	あまり役立たない
④	全く役立たない

ウ 進路ガイダンスの有用度

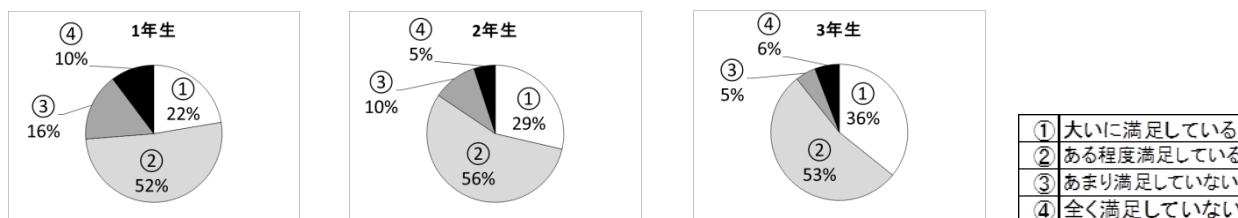


エ スクールカウンセラーとの面談や相談の有用度



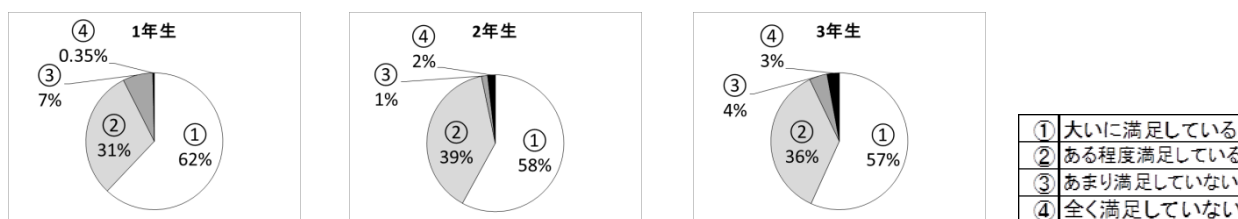
※ 2年生の「大いに役立つは」は、若干減少しますが、「ある程度役立つ」を含めた肯定的評価は高まっています。

オ 29年度の施設・設備の改善への評価



(3) 全体的に肯定的評価が高いもの

ア 外苑祭や体育祭などの学校行事の満足度



イ パン販売の試行の満足度



3 今後の教育活動への反映

学校評価の結果については、生徒及び教職員の個人情報等に配慮した上で、生徒対象のもの、教職員対象のもの、学校運営連絡協議会対象のもの全てを学校ホームページに掲載する予定です。自由記述に見られる不満や要望、提案については、優先順位を付けつつも改善に向けて真摯に対応して参ります。

今後も引き続き、教育活動の透明化を推進し、生徒の皆さん、保護者の皆様に信頼していただけるよう努めて参ります。

なお、保護者の皆様による学校評価については、入力締切を1月24日まで延長したことから、2月中にご報告できるよう取り組んで参ります。

II 生徒による授業評価等

1 概況

第1回目の調査とほぼ同様の結果でした。各教科・科目、各担当教諭の評価は、大差がなく、いずれも肯定的評価が8割から9割を占めています。また、授業を通して学力や技能の向上を実感している生徒の割合は、授業に取り組む姿勢の違いによって極めて大きな差異が見られることも同様です。

2 特徴的傾向

(1) 調査（質問）内容

質問4に、「当てはまる」と答えた生徒と「やや当てはまる」と答えた生徒では、授業のねらいの理解度、学んだ知識を活用する活動の認識の度合い、そして、自らの学力の向上の実感の度合いに大きな差異が見られます。

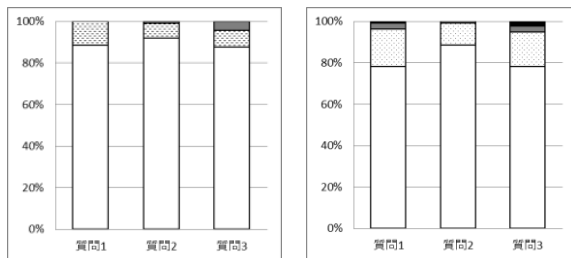
質問1	先生は、この授業の目標・ねらいをきちんと伝えてありますか
質問2	先生は、授業時間内や課題・宿題等で、この授業で覚えた知識・技能を活用する機会を与えていますか
質問3	この授業によって学力や技能の向上を実感していますか
質問4	この授業に自分なりの課題や目標をもって取り組んでいますか

※ 各生徒が受けている全ての教科・科目について、それぞれ四つの質問を行い、「当てはまる」「やや当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の四段階で回答してもらいました。

(2) 特徴的傾向

ア 1学年数学Ⅰ 回答数 7月調査 280名 11月調査 282名

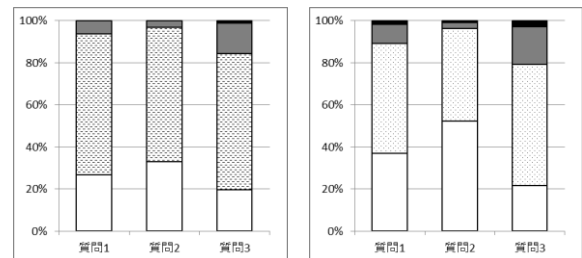
・自分なりの目的意識をもったグループ



7月調査

11月調査

・ある程度は目的意識をもったグループ

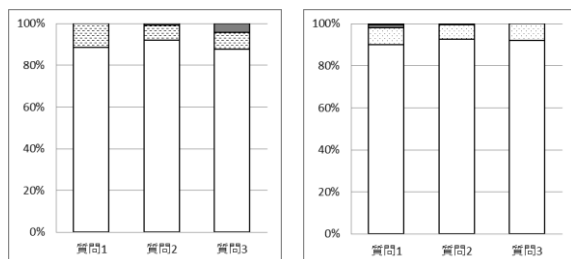


7月調査

11月調査

イ 2学年コミュニケーション英語Ⅱ 回答数 7月調査 237名 11月調査 276名

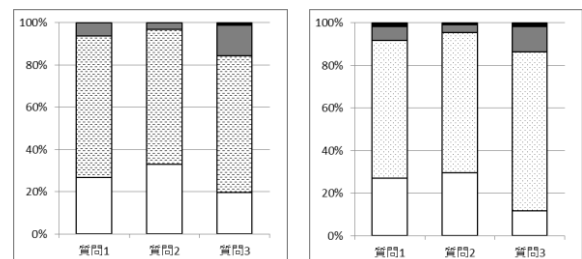
・自分なりの目的意識をもったグループ



7月調査

11月調査

・ある程度は目的意識をもったグループ

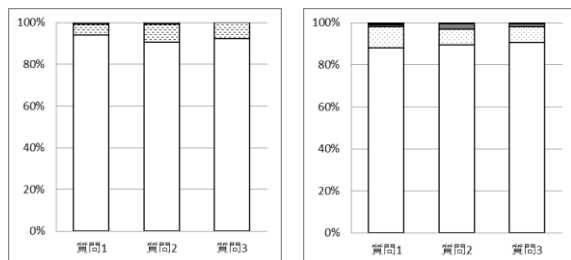


7月調査

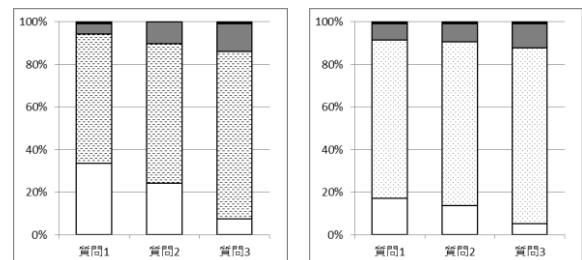
11月調査

ウ 3学年国語 現代文 回答数 7月調査 270名 11月調査 310名

・自分なりの目的意識をもったグループ



・ある程度は目的意識をもったグループ



	当てはまらない
	あまり当てはまらない
	やや当てはまる
	当てはまる

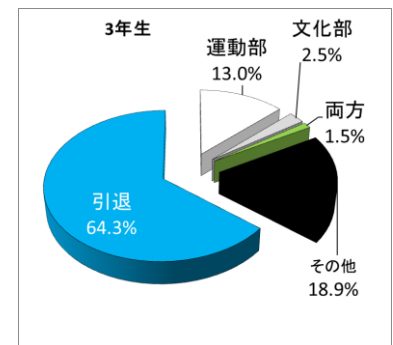
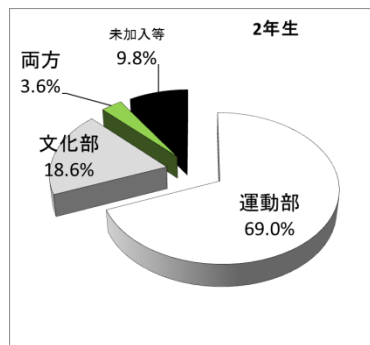
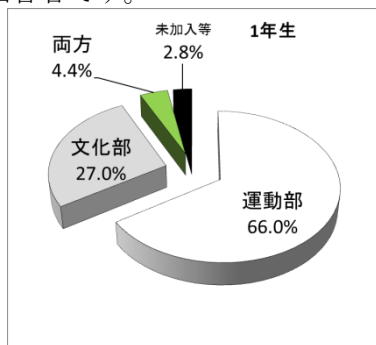
3 今後の教育活動への反映

いずれの教科・科目においても、質問4に「当てはまる」と答えた生徒、すなわち「授業に自分なりの課題や目標をもって取り組んでいる」生徒は、その圧倒的多数が「授業で覚えた知識・技能を活用する機会が与えられ」、「授業によって学力や技能の向上を実感している」ことが今回の調査でも実証されました。授業に当たり、生徒が課題・目的意識をもつよう仕向けていくことが、学力や技能の向上をもたらす一つの鍵であることがうかがえることから、引き続き授業を中心とした指導の充実に努めて参ります。また、生徒による授業評価の結果については、7月調査の結果と同様に学校ホームページに掲載する予定です。ご家庭におかれましても、お子様に対して課題・目的意識をもつことの重要性を引き続きご教授くださるようお願いいたします。

III 生徒の実態に係る調査

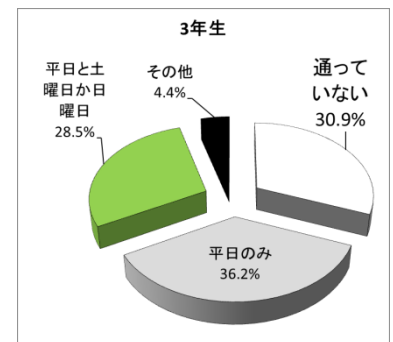
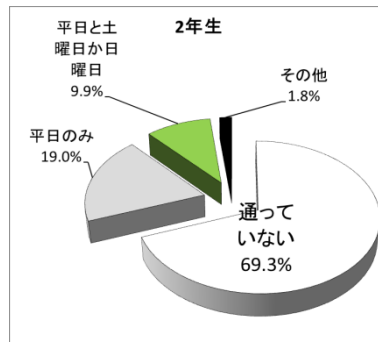
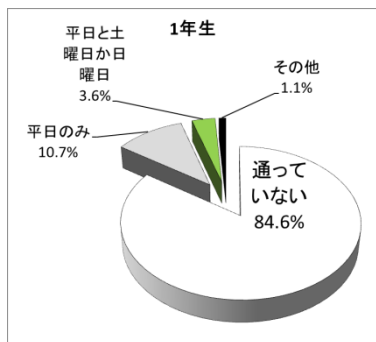
1 部活動加入状況

1年生の加入状況は高いまま変化がありません。2年生は若干下がりました。3年生の「その他」は未回答者です。



2 塾・予備校の状況

全体的な傾向は7月調査や昨年度の調査とほぼ同様です。



IV その他

ご不明なことがありましたら、以下の担当までお問合せください。

【担 当】
副校長 岡田 貴夫
電話 03-3404-7801